

台風19号支援活動のご報告

2019.Oct

台風19号は、2019年10月12日から13日未明にかけ、東海、関東、東北地方を縦断し、河川の氾濫や土砂災害など各地に甚大な被害を及ぼしました。シビックフォースは、パートナー団体のピースウィンズ・ジャパン、A-PADジャパンと共同で発災直後から緊急支援活動を展開しています。ご支援いただいた皆さまに、今日までの活動についてご報告いたします。

緊急合同支援チームの派遣

13日、航空機やヘリ、車両などで、医師4人、看護師1人を含む12人の緊急合同支援チームを長野市に派遣しました。



緊急支援物資の調達・配送

14日、千曲川周辺の避難所などでニーズ調査を開始し衛生用品などを調達・配布。緊急災害対応アライアンス「SEMA」を通じて提供された下着や防寒着など約5600着や高圧洗浄機などを届けました。16日には断水が続く福島県相馬市や宮城県丸森町に給水袋850枚を届けました。



浸水した病院の患者搬送

13日から15日にかけて、DMAT、自衛隊らと協力し、浸水した長野県立総合リハビリテーションセンターと賛育会クリニック（長野市）で、入所者や患者ら276人の他医療機関への搬送を支援しました。



避難所での診察

13日、長野市内の2箇所の避難所で、医師が避難している方の診察を行い、必要に応じて薬の処方を行いました。



NPOパートナー協働事業

災害ボランティアセンターの運営支援などを担う専門団体と連携し、被災地の中長期的な復旧・復興を応援する「NPOパートナー協働事業」を開始しています。

Voice～被災地からたくさんの声が届きました

「連日、全力で救っていただいたおかげで、近隣病院に患者を搬送できました。清掃までしていただき、本当にありがとうございます」
長野市・賛育会クリニックの看護師

「浸水し停電が発生したりハビリセンターや病院では患者搬送の際に足元を照らすランタンがほんとうに役に立ちました」
患者の搬送を支援した医師



「自宅は泥に埋もれてしまいました。罹災証明の手続きはなんとか進んだけれど、家の片付けはまだこれから。いただいた靴下は同じように大変な目にあつたご近所の方にも渡します」
千曲市役所を訪れた女性

「高圧洗浄機のご支援ありがとうございます。少しでも早い復旧を遂げ、観光地としての小布施の街をまたみなさんにみてもらいたいです」
小布施町災害ボランティアセンター職員

シビックフォースから皆さまへ ご寄付のお礼とご報告

シビックフォースの台風19号緊急支援活動に対し、Yahoo!募金など通じて、多くの皆さまから約2000万円のご寄付を頂戴しました(10月末現在。運営費含む)。ご支援いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

今後は、物資支援だけでなく、地域の中長期的な復興を見据えた支援活動を、長野、福島、宮城、千葉などで続けていく予定です。継続したご支援をお願いいたします。

Yahoo!募金 台風19号緊急支援
(Civic Force)



Civic Force オンライン寄付



公益社団法人 Civic Force
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階
TEL:03-5790-9366 HP:civic-force.org